

# 逐條土地收用法資料

(一七)

高坂孝三

第四十九條 土地ノ一部ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ損失ヲ補償スヘシ

## 一、殘地損失判定ノ標準

(一) (行裁明治四十一年第六九號) (行裁同四十二年四月二十二日宣告)

(要旨) 土地ノ一部ヲ收用セラレタルカ爲殘地ノ價格ニ減少ヲ來スヤ否ヤハ隣地ト接續ノ關係及收用ノ目的タル公共工事ノ一般土地ノ市價ニ及ホス影響等ヲ斟酌シテ決スヘク殘地ノ形狀ノミニ依リテ之ヲ決スヘキモノニ非ス

(判決理由) 原告ハ本件土地收用ノ結果殘地ハ不整齊ノ形狀ヲ呈シ其價格ノ減少ヲ來スハ顯著ナル事實ナレハ其損失補償ヲ請求シ得ルハ明カナリト主張スレトモ殘地價格ノ減少アルヤ否ヤ

ハ隣地ト接續ノ關係及收用ノ目的タル公共工事ノ一般土地ノ市價ニ及ホス影響等ヲ斟酌シテ之ヲ決スヘク單ニ殘地ノ形狀ノミニ依リテ之ヲ決スヘキモノニアラサレハ殘地ノ形狀不整齊ノ爲其價格ニ多少ノ減少ヲ來スコトアリトスルモ周圍ノ事情ヨリシテ土地ノ價格ニ騰貴ヲ來スコトアルトキハ損失補償ノ請求ハ其理由ナキモノナリ而シテ市内道路改良ノ爲土地ヲ收用スルトキハ附近土地ノ市價ニ騰貴スルヲ以テ土地所有者殘地ノ收用ヲ好マサルハ市街一般ノ狀況ニシテ顯著ナル事實ナレハ本件ニ於テモ原告ハ殘地價格ノ騰貴ヲ特ミ其收用ヲ肯シセザリシモノナリトノ被告參加人ノ主張ハ信用スルニ足ル然ラハ原告ノ殘地價格ノ減少ニ基ツク損失補償ノ請求ハ其理由ナキモノニシテ採用スルヲ得ス

(二) (行裁明治四十三年第一一九號) (行裁同四十三年二月七日宣告)

(要旨) 土地ノ一部ヲ收用シタルカ爲殘地ノ價格減少スルヤ否ヤハ隣地ト接續ノ關係及ヒ收用ノ原因タル公共工事ノ一般土地ノ市價ニ及ホス影響等ヲ斟酌シテ之ヲ決スヘク單ニ殘地ノ形狀ノミニ依リテ決スヘキモノニ非ス

(判決理由) 原告ハ收用殘地ハ狹隘不便ニシテ何等ノ用ニモ供スルヲ得サル廢地ニ歸スルモノナルニ被告カ之ニ對シ何等ノ補償ヲ裁決セサルハ違法ナリト云フモ該殘地ハ面積八十二坪八合ナルモ其位置形狀ハ乙第七號證記載ノ如クニシテ二方道路ニ沿フモノナルハ原告ノ爭ハサル所ナルヲ以テ必スシモ之ヲ宅地トシテ若クハ其ノ他ニ之ヲ利用シ難キモノト認メ難キノミナラス一般ニ收用殘地ノ價格ノ減少スルヤ否ヤハ隣地ト接續ノ關係及收用ノ原因タル公共工事ノ一般土地ノ市價ニ及ホス影響等ヲ斟酌シテ之ヲ決スヘク單ニ殘地ノ形狀ノミニ依リテ之ヲ決スヘキモノニアラス且市街地ニ於テ電氣鐵道線路ヲ敷設スルトキハ附近土地ノ市價ハ一般ニ騰貴スルヲ常トスルヲ以テ本件殘地ノ如キ一方該線路ニ沿ヒ一方他ノ道路ニ面スル如キ便利ナル位置ニ於ケル土地ハ收用ノ爲其價格減少スルモノト認メ難ク從テ原告ハ殘地ニ關シ何等ノ損失ヲ被ムルモノト認ムルヲ得ス

(三) (大審大正三年(才)第九五六號)  
同 四年五月五日言(渡)

法 令

(要旨) 土地ノ一部ヲ收用セラレタル爲殘地ノ價格ニ減少ヲ來スヤ否ヤハ收用ノ結果殘地ニ及ホス面積ノ減少殘地ノ形狀、隣地トノ接續關係等殘地利用ノ便否ニ關スル事情ハ勿論收用ノ目的タル公共工事ノ附近一般土地ノ市價ニ及ホス影響ヲモ斟酌シテ決定スヘキモノトス

(判決理由) 略

(四) (行裁昭和五年第三五二號)  
同七年三月二十九日宣告

(要旨) 土地ノ一部ノ收用ニ因リテ殘地ノ價格等ヲ減スルヤ否又ハ殘地ヲ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサルヤ否ハ必スシモ土地臺帳記載ノ各筆ノ區域ヲ基礎トシテ定ムヘキモノニ非スシテ土地臺帳ニハ數筆ニ記載セラレアル土地ト雖一體ヲ爲シ單一ノ經濟目的ニ供セラレアルモノト認ムヘキモノニ付テハ一體ヲ爲セル土地ノ區域ヲ基礎トシテ定ムルヲ相當トス

(判決理由) 原告ハ土地ノ一部ノ收用ニ因リテ殘地ノ價格ヲ減スルヤ否又ハ殘地ヲ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサルヤ否ハ土地臺帳記載ノ各筆ノ區域ヲ基礎トシテ決スヘキモノナル

ノミナラス登記ハ各筆毎ニ收用セル土地ト殘地トヲ分筆シテ爲スコトヲ要スルモノナルカ故ニ本件起業者ガ原告ノ所有地タル六百八十四番ノ一及三ノ各一部ヲ含量シテ本件收用土地ノ區域ヲ定メテ收用ノ裁決ヲ申請シタルハ違法ナルニ拘ラス被告ハ之ヲ適法ノモノトシテ之ニ基キ本件收用ノ裁決ヲ爲シタルハ違法ナル旨主張スルモ殘地ノ有無竝殘地ノ價格ヲ減スルヤ否及殘地カ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサルヤ否ハ必スシモ土地臺帳記載ノ各筆ヲ基礎トシテ定ムヘキモノニ非スシテ土地臺帳ニ於テハ數筆ニ記載セラレアル土地ト雖一體ヲ爲シ單一ノ經濟目的ニ供セラレアルモノト認ムヘキモノニ付テハ一體ヲ爲セル土地ノ區域ヲ基礎トシテ定ムルヲ相當トス斯クノ如キ場合ニ一體ヲ爲セル數筆ノ土地中收用セル部分ト殘地トヲ各筆毎ニ分筆シテ登記ヲ爲サス數筆ヲ合筆シテ一筆トシテ登記シタル後更ニ收用地ト殘地トヲ分筆登記ヲ爲スモ之ヲ違法ト爲ス何等ノ理由ナキヲ以テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張モ亦採用スルニ由ナシ

二、殘地損失ノ有無事實認定

(一)

(行裁昭和二年第九號)  
同三年七月十九日宣告

(要旨) 温泉町附近ニ在リ且ツ北西山ニ接シ東南海ニ面シ別莊地トシテ適當ナル地位ニ在ル長幅共大差ナキ多邊方形

ノ一反四畝餘ノ土地ノ内其ノ大半ヲ收用シタルカ爲不整ナル長方形ヲ爲セル六畝餘ノ土地ト爲リタル場合

(判決理由)

本件係争地ハ湯河原温泉町迄ノ距離三十三町餘海岸迄ノ距離十五町内外ノ所ニ在リ北西山ニ接シ東南海ニ面シ別莊地トシテ適當ノ地位ニ在ルコトヲ認メ得ヘシ而シテ本件係争地ハ土地收用前ニ於テハ四百五十八番ハ反別七畝二十三歩外畦畔一畝歩四百五十七番ハ反別五畝歩外畦畔十八歩ニシテ四百五十八番ハ北西方ニ向ツテ十一間八分ニ付約三間ノ勾配ヲ爲シ其ノ東南方ニ於テ四百五十七番ト約三尺五分ノ高低ノ差ヲ以テ接續シ兩地合シテ長サト幅ト大差ナキ多邊方形ヲ爲セル一反二畝二十三歩外畦畔一畝十八歩ノ土地ナリシニ本件收用ニ因リ其ノ殆ント中央ヨリ東北ノ部分ヲ失フコトト爲ルカ爲不整ナル長方形ヲ爲セル六畝餘歩ノ土地ト爲リ爲ニ著シク其ノ利用價值ヲ減少シタルモノト認ム然レハ被告カ原告ノ請求ニ係ル右殘地ニ生シタル損失ノ補償ヲ排斥シタルハ土地收用法第四十九條ニ違反スルモノトス

(二)

(行裁明治四十三年第七三號)  
同四十二年六月二十六日宣告

(要旨) 收用ニ依リ土地カ中央部ヲ横斷セラレ若クハ主要部分ヲ失フモ收用ノ結果鐵道開通シ停車場設置セラレ附近

一帯ニ地價ノ上騰ヲ見ルカ如キ場合

(判決理由) 原告ハ本件收用地ノ各殘地カ何レモ其中央部ヲ横斷セラレ若クハ其主要入部分ヲ收用地トシテ奪取セララルルニ依リ僅カニ殘存セル土地ハ其收用以前ノ畑全部ノ割合ニ對スル價格ヲ保ツコト能ハサルノミナラス汽車ヨリ直下スル煙害ノ爲メニ桑畑ニ損失ヲ被ムルヘキニ依リ其損失ノ補償ヲ求ムト主張スルモ係争地ノ附近一帯ノ土地ハ却テ鐵道開通及停車場設置ノ爲メニ一般ノ地價ノ上騰ヲ見ルヘキハ普通ノ趨勢ニシテ本件係争ノ殘地ノ如キモ其趨勢上同一ノ狀態ノ下ニ在ルヘキハ必然ノ結果ナルニ依リ何レモ鐵道用地收用ノ爲メ其收用以前ノ地價ヲ保ツコト能ハサルヘシトノ原告ノ主張ハ採用スルニ足ラサルノミナラス猶又汽車ヨリ直下スル煙ノ爲メニ如何ナル被害ヲ桑畑ニ及ホスヘキヤ其實實ヲ確認スルニ由ナク單ニ之カ爲メ損失ヲ被ルニ至ルヘシトノ推測ヲ爲スニ過キサルモノト認ムルニ依リ此點ニ關スル原告主張モ理由ナキモノトス

(三) (行裁明治四十年第一三五號  
同四十二年十一月七日宣告)

(要旨) 宅地トシテ適當ナル土地ノ一部ヲ使用シ之ニ特別高壓電氣用ノ電線ヲ架設シタルカ爲電柱中間ノ土地及其ノ左右近接ノ土地ハ危險區域トシテ安全ニ家屋ヲ建設シ難ク

事實上利用ノ途ヲ狹縮セラレタル場合

(判決理由) 被告ハ現行ノ法規ニハ電線路ノ左右四十尺以内ニ建築物ヲ禁止スルノ明文ナキカ故ニ原告カ現在ノ田ヲ變シテ宅地ト爲シ之ニ家屋ヲ築造スルモ固ヨリ所有權ノ範圍ニ屬シ他ヨリ其利用ヲ制限スルモノナキナリト云フモ原告所有地ハ宅地タルノ資格ヲ有スルニ拘ラス其一部ヲ使用シ之ニ特別高壓電氣用ノ電線ヲ架設スルトキハ電柱中間ノ地ハ勿論電柱左右四十尺ハ危險區域トシテ安全ニ家屋ヲ建設シ難キハ甲第一號證ニ依リ明ナレハ原告ノ所有地ハ事實上利用ノ途ヲ狹縮セラレタルモノト云ハサルヲ得ス要スルニ其殘地中就中前記危險區域ハ其價格ノ減少ヲ來スヘキニ何等ノ補償ヲ與ヘサルハ收用法第四十九條ノ規定ニ違背スルモノト云ハサルヲ得ス

(四) (行裁昭和三年第一八四號  
同八年十一月十五日宣告)

(要旨) 現在ハ雜木林ナルモ景勝ノ位置ヲ占メ別莊敷地トシテ適當ナル土地四百三十七坪ノ内其ノ殆ト中央ノ高壓電線用鐵塔ノ敷地トシテ二十五坪收用セラレ且ツ其ノ上空地上ヨリ四十二尺乃至六十五尺ノ所ニ於テ高壓電線ノ爲幅約十八尺ニ互リ二分セラレ該土地ハ收用ニ因リ一團地トシテ

利用スルヲ得サルニ至リ全部ヲ一團地トシテ利用スル場合ニ比シ著シク利用價值ヲ減シタル場合

(判決理由) 按スルニ係争地(千十三番ノ一)ハ地形東西ニ短ク南北ニ長キ半月形ノ土地ニシテ其ノ位置ハ小田原町ト湯本町間ノ國道ニ沿フ板橋部落ノ西端ニ近キ箱根登山鐵道板橋停留場ヨリ西北方約十町餘ノ距離ニ在リテ其ノ間ノ道路ハ幅員約二間半ノ坂道ナルモ多少修繕スルニ於テハ自動車ノ運輸可能ニシテ係争地外七筆ノ原告所有地ハ東南ニ向ヒ傾斜セル一丘陵ノ上部ニ在リテ係争地ハ其ノ最高キ所ニ位シ東南方ニ相模灣ヲ瞰下シ東方ニ國府津會我山ヲ西方ニ箱根連山ヲ眺望シ得ル景勝ノ位置ヲ占メ現在ハ雜木林ナルモ右ハ將來邸宅地トシテ使用セララル迄ノ一時的利用現象タルニ過キスシテ(中略)係争ノ千十三番ノ一ノ一部タリシ百五十坪ノ土地カ大正十二年十一月ノ當時一坪三十圓ヲ以テ賣買セラレタルコトハ被告提出ニ係ル賣渡人原告買受人早川電力株式會社間ノ同月附土地賣買契約書(中略)ニ依リ明ナルカ故ニ之等ノ事實ヲ綜合考覈スルトキハ本件係争地ハ別荘敷地トシテ適當ノ位置ニ在ルモノト認ムルヲ相當トス而シテ係争地ハ面積四百三十七坪アリ其ノ東境ニ於テ接續スル原告所有ニ係ル千十三番ノ二同番ノ五ヨリ地盤高クシテ其ノ地番境ニ於テモ二間乃至三間ノ差アリ又係争地ノ殆ト中央ニ於テ

高壓線ノ支持物タル鐵塔ノ敷地トシテ方形ニ二十五坪ヲ收用セラレ地上ヨリ四十二尺乃至六十五尺ノ空中ニ幅約十八尺三寸ニ互リ八條ノ高壓電線カ係争地ノ中央部ヲ南北ノ方向ニ該鐵塔ニ架設セラレ居リ送電線ヲ境トシテ二分セラレ地形何レモ南北ニ狹長ニシテ殊ニ西側ハ地勢道路ニ向ツテ傾斜シ居レルコトハ檢證圖書並附圖ノ記載ニ徴シ明ナル所ナルカ故ニ係争ノ千十三番ノ一ハ其ノ隣地ノ千十三番ノ二同番ノ五ト分離セルノ宅地トシテ利用スルニ適當ナルモノト認ムヘキモノナレトモ右送電線下ノ土地及其ノ西側ノ土地ト雖之カ爲別荘地トシテ使用不能ニ至レルモノトハ認メ難キヲ以テ之カ收用ヲ求ムル原告主張ハ理由ナシ然レトモ係争地ハ本件收用ニ因リテ一團地トシテ利用スルヲ得ス高壓電線ヲ境トシテ東西ニ分チ各別ニ利用スル外ナキニ至リ從テ係争地全部ヲ一團トシテ利用スル場合ニ比シ遙ニ其ノ利用價值ヲ減スルモノト認メラルルヲ以テ本件收用ニ因リテ殘地四百十二坪ノ價格ヲ減少スルモノニ非スト爲ス被告ノ主張ハ不當ナリ

(五)

(行裁昭和三年第二一八號  
同四年六月二十日宣告)

(要旨) 電車線路用地トシテ田地ノ中央ヲ橫斷シテ收用セラレタル爲メ殘地ハ其ノ兩側ニ枚ノ田地トナリ之等田地ハ

或ハ道路ヘノ交通不便トナリ或ハ耕作其ノ他ノ利用上不便ヲ來シタル場合

(判決理由) 檢證調査中評定官臨檢ノ結果ノ記載ニ依レハ(中略)小字南御反田十一番田ニ付テハ「路線北側ノ殘地ハ北方府縣道ヲ距ル十三間ノ地點ニ位シ畦畔ヲ經テ直ニ本殘地ニ達スルヲ得ヘク」路線南側殘地ノ面積並地形モ檢證見取圖記載ノ通ル「收用地ト其ノ東方若ハ西方ニ設置セル踏切箇所トノ距離ハ何レモ約二十間アリ殘地ノ南側ニ接シテ畦畔アリテ右兩踏切ノ道路ニ通ス而シテ北方府縣道方面ヨリ本殘地ニ達スルニハ前記東方乃至西方踏切ヲ經テ畦畔ヲ迂迴スルモノナルコトハ認ムレトアリ右ニ依レハ十一番田ハ電車線路ニ依リ横斷セラレ殘地ハ其ノ南北ニ於テ二枚ノ土地トナリ其ノ南側ノ田地ハ從來府道ヨリ畦畔ヲ經テ容易ニ交通シ得タルニ收用ノ結果東西約二十間ヲ隔リタル箇所ニ於ケル新設ノ踏切ヲ經ルニ非サレハ府道ニ交通スルコト能ハサルニ至リ又北側ノ田地ハ僅ニ五十七坪ト爲リタルヲ以テ前示兩側ノ殘地ハ何レモ耕作其ノ他利用上不便ヲ來シ土地ノ價格ニモ低減ヲ免レサルモノト認ムルヲ相當トス被告ハ之等ノ土地ハ何レモ停車場ニ接近シ居レル關係上其ノ價格ハ自然騰貴スルコト論ヲ俟タサル所ニシテ所有者ハ寧ロ利益ヲ受クルモ損失ヲ被ルコトナシト云フモ收用當時ニ於テ係争地附近ノ土

地カ一般ニ地價ノ騰貴ヲ來シタリト認ムヘキ證據ナキカ故ニ被告ノ主張ハ採用セス

(六) (行裁昭和六年第八〇號  
同七年十二月十日宣告)

(要旨) 宅地ノ一部收用ノ結果其ノ殘地カ收用地タル電車軌道ニ沿ヒ且ツ地形不整ノ宅地ト爲ルトキハ右收用ノ爲從來ヨリ其ノ價格ノ減少ヲ來スモノト認ムルヲ相當トス

(判決理由) 略

三、殘地補償ノ要否ト收用審査會ノ職權

(行裁昭和四年第二二九號  
同六年十二月三日宣告)

(要旨) 收用審査會カ土地ノ一部ノ收用ヲ裁決スル場合ニハ殘地補償ノ要否ハ起業者又ハ土地所有者若クハ關係人ノ申立ノ有無ヲ問ハス當然之ヲ調査シ裁決スヘキモノト解スルヲ相當トス

(判決理由) (前出第四十一條資料五ノ(一)參照)

四、殘地補償ニ關スル申立ト出訴

(一) (行裁昭和四年第二二九號  
同六年十二月三日宣告)

(要旨) 土地ノ一部收用ニ付起業者カ協議調ハサルモノト

シテ收用ノ裁決ヲ申請スルニ當リ殘地補償ニ付何等記載ス

ル所ナク土地所有者亦之ニ付收用審査會ニ對シ何等申立ヲ

爲ササリシ場合ニ於テモ同會ニ於テ殘地補償ニ關スル裁決

ヲ爲ササリシトキハ土地所有者ハ右裁決ニ對スル行政訴訟

ニ於テ殘地補償ニ付請求ヲ爲シ得ルモノト解スルヲ相當ト

ス

(判決理由) (前出第四十一條資料五ノ(一) 参照)

(二) (大審 大正五年(オ)第六四一號  
同 五年十月十四日言渡)

(要旨) 土地收用法第四十八條、第四十九條ノ趣旨ハ收用

地其ノモノノ損失補償ト收用ニ因リテ生シタル殘地ノ損失

補償トハ全然獨立セル別個ノ補償トシテ各別ニ裁決ノ目的

ト爲スニ在ルモノト解スルヲ正當トス從テ殘地ノ補償ニ付

キ被收用者ヨリ收用審査會ニ對シ何等請求ノ申立ヲ爲サス

裁決ノ目的ト爲ラサル以上ハ被收用者ハ殘地ニ關スル損失

ノ有無及ヒ其補償ニ付キ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得サ

ルモノトス

註、本判例ハ後日變更セラレタモノト認メラレレル。

第五十條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用キ

タル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ

全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

一、本條ニ所謂從來用キタル目的

(行裁 大正十二年第一九一號  
同十三年二月二十八日宣告)

(要旨) 收用ニ因リ其ノ殘地ヲシテ單ニ豫定ノ目的ニ供ス

ルコト能ハサルニ至ラシメタル場合ハ土地收用法第五十條

ニ所謂從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサル場合ニ該當

セス

(判決理由) 原告ハ他ヨリ石山ヲ買収シ之ヨリ石材ヲ發掘スル

カ爲メ本件ノ地所ヲ買収シタルモノニシテ即チ石山ヨリ石材ヲ

得ントシタルハ其ノ豫定ノ目的タリ從テ本件收用ニ因リ其ノ殘

地ヲシテ單ニ右豫定ノ目的ニ供スルコト能ハサルニ至ラシメタ

ルニ過キスシテ土地收用法第五十條ニ所謂從來用キタル目的ニ

供スルコト能ハサルニ至ラシメタルモノト云フヘカラサルヲ以

テ殘地ハ右ノ理由ニ依リテ之ヲ收用スヘキ限ニ在ラス

二、從來用キタル目的ニ供スルコト能ハ

サルヤ否ノ事實認定

(一) (行裁明治三十四年第二九〇號  
同三十五年四月二十八日宣告)

(要旨) 宅地ノ一部收用セラレタルモ收用地ハ地積ニ於テ  
モ其ノ四分ノ一ニ相當シ又地形ヲ異様ニ變更セシメタルニ  
モ在ラス且殘地上ノ家屋ト收用地ト甚シク相接近シ庭園ノ  
風致ヲ全ク失却スルカ如キ狀態ニ至ラシメタルニモ非サル  
場合

(判決理由) 原告ハ本件ノ如ク一部ヲ收用セラルルニ於テハ殘  
地及ヒ之ニ建設シアル家屋ハ住居トシテ使用シ能ハサル狀況ナ  
ルヲ以テ土地收用法第五十條ノ規定ニ基キ殘地及ヒ家屋ヲ收用  
シ之カ補償ヲ受クヘキモノナリ否ラサレハ殘地及家屋ハ價格ノ  
減少ヲ來シ損害ヲ受クルコト明ナレハ之ニ對シ相當ノ補償ヲ爲  
スヘキモノナリト云フモ甲第二號證ノ圖面ニ依レハ本件收用地  
ハ原告カ宅地ノ東方南北ニ横斷シタル一部ニ過キス其地積ニ對  
テモ其四分ノ一ニ相當シ亦致テ地形ヲ異様ニ變更セシメタル狀  
況ニ在ラス殊ニ殘地ニ在ル家屋ト收用地域ト甚シク相接近シ全  
ク庭園ノ風致ヲ失却スルカ如キ狀況ニアラサルヲ以テ本件一部

ノ收用ノ爲メニ該殘地ヲ原告カ邸宅用トシテ使用スル能ハサル  
モノト認ムルヲ得ス又該收用地ニ停車場ヲ設置セラレタリトス  
ルモ之カ爲メニ該地ノ價格ヲ減少シ損害ヲ受クルモノト認メ難  
ク原告ノ請求ハ其理由ナキモノトス

(二) (行裁昭和八年第六八號  
同九年六月九日宣告)

(要旨) 畑地約六畝歩ノ内四畝二歩ヲ收用セラレタルモ其  
ノ附近一帶ハ丘陵地ニシテ收用地及殘地並附近田畑ハ其ノ  
間ニ開ケタル耕地ナルノミナラス之等ハ一區劃ノ地ニ於テ  
モ殘地ノ如キ狹小ノ處多キ狀態ニシテ殘地ト雖モ農作可能  
ナルカ如キ場合

(判決理由) 本訴ノ爭點ハ(一)本件收用ニ因リ保爭殘地ヲ從來  
用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサルニ至リタルヤ否ヤ(中略)  
ニ在リトス仍テ按スルニ(一)本件保爭ノ土地ハ元大凡六畝歩ノ  
畑地ナリシモ内四畝二歩ヲ收用セラレタル爲檢證見取圖ニ示ス  
カ如ク訴外ノ土地二一〇番第一畑(ホ點ノ土地)ニ依テ二分セ  
ラレ甲殘地トナレリ而シテ收用實測圖(乙第一號證附屬圖面)  
ニ依レハ甲殘地ハ二十八步乙殘地ハ二十三步ノ面積ヲ有シ甲殘  
地ハ檢證見取圖(イ)點ノ土地ヨリ順次(ロ)點(ハ)點及(ニ)點ノ



土地ニ段階ヲ爲シテ下降シ其ノ幅員ハ大體三間ナリ又乙殘地ノ幅員ハ大體二間半内外ナリ而シテ係争地附近ハ大體丘陵ノ地ニシテ收用ニ係ル土地及殘地竝ニ其ノ附近ノ田畑ハ其ノ間ニ開ケタル耕地ニシテ係争殘地ヨリ鐵道線路ヲ隔テテ北東ノ隧道附近ニ互リ地盤一帯ニ高ク耕地ハ段階ヲ爲シテ一區劃ノ地ニ於テモ係争殘地ノ如キ狭小ノ處多キコトハ檢證調書ニ徴シ明ナル處ナルカ故ニ係争殘地モ亦此等ノ耕地ト同様從來ノ如ク畑地トシテ之ヲ使用スルニ支障ナキモノト認ムルヲ相當トス加之檢證調書ニ評定官ノ原告本人ニ對シ「今日ニ於テモ從前ノ如ク農産物ヲ作ルトセハ作り得ルヤ」トノ問ニ對シ原告本人「然リ」ト答ヘタル旨ノ記載アルニ依テ之ヲ觀ルモ原告自身モ亦右事實ハ之ヲ爭ハサルモノト認ムヘキカ故ニ土地收用法第五十條ノ規定ニ依リ殘地ノ全部ヲ收用スヘシトノ原告ノ主張ハ之ヲ採用スルニ由ナシ

第五十一條 收用又ハ使用スヘキ土地ニ在ル物件ハ移轉料ヲ補償シテ移轉セシムヘシ但シ物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ全部ノ移轉料ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ物件ヲ移轉スルニ因リテ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

一、地上物件ニ對スル處置ノ原則

(行裁大正十五年第二七四號)  
昭和二年三月十五日宣告

(要旨) 土地收用法第五十一條ノ規定ニ依レハ收用地上ノ物件ハ原則トシテ之ヲ移轉セシムヘク而シテ移轉ニ因リテ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサル場合ニ限り所有者ヨリ其ノ收用ヲ請求シ得ルモノトス

(判決理由) 原告ハ本件係争建物及造作ハ現在ノ位置ニ恰當シ場所柄及營業ト相和シテ大ナル經濟的價値ヲ有スルモノニシテ之ヲ移轉スルトキハ其ノ價値ヲ失フカ故ニ木造ナリト雖移轉不能ニシテ全部收用スヘキモノナリト主張スルモ土地收用法第五十一條ノ規定ニ依レハ收用地上ノ物件ハ原則トシテ之ヲ移轉セシムヘク所有者ヨリ其ノ收用ヲ請求シ得ル場合ハ同條第二項ニ該當スル場合即チ移轉ニ因リテ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサル場合ニ限ルモノトス然ルニ本件係争建物ハ普通ノ木造家屋ニシテ諸雜詰食料品ノ販賣支那料理業及喫茶部ノ營業ニ供セ

テレタルモノナルコトハ當事者間爭ナキ所ニシテ右家屋ハ土地收用法第五十一條第二項ニ所謂移轉ニ因リ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサルモノト認ムルコトヲ得サルニ依リ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ採用スルヲ得ス

## 二、土地ノ收用ニ伴ハサル物件ノ移轉

(內務大正元年八月二十九日  
土務第二二三號訴訟判決)

(要旨) 收用ニ伴フ地上物件ノ移轉ハ土地收用法ノ認ムル所ナルモ單ニ地上物件ノ移轉ノミニ關シ收用審査會ニ判決ヲ申請スルコトヲ得サルモノトス

(原文) 右訴訟ハ鐵道院ノ申請ニ基キ明治四十五年五月二十九日東京府收用審査會ノ爲シタル判決ニ對シ提起シタルモノニシテ其ノ要旨ハ「內閣ノ事業認定ハ土地ヲ收用スルコトヲ得ル事業ノ認定ニシテ土地ノ收用ハ法第六十一條ニ明記セル如ク地上物件ヲ移轉セシムル效果ヲ生スルモノナレハ土地ヲ收用シ得ヘキ事業ノ認定ハ當然地上物件移轉判決ノ場合ヲ包含ス」ト謂フニ在リ之ニ對スル東京府收用審査會長辨明ノ要旨ハ「土地收用法ニ於テハ地上物件ハ土地所有者ノ所有物ナルカ又ハ土地ニ關スル權利ヲ有スル者ノ所有ナル場合ニ對シ土地物件ヲ收用移轉セシムルノ效果ヲ生スルモノニシテ本件ノ如ク單ニ土地物件ヲ

移轉スルカ如キハ土地收用ノ範圍外ニ屬スト信ス」ト謂フニ在リ

仍テ土地收用法第八十一條ニ依リ之ヲ受理シ審査ヲ遂クルニ土地ノ所有權又ハ土地ニ關スル權利ノ收用ニ伴フ地上物件ノ移轉ハ土地收用法ノ認ムル所ナルモ本件ハ唯單ニ自己ノ所有地ニ在ル物件ノ移轉ノミヲ目的トスルモノニシテ土地ノ所有權又ハ土地ニ關スル權利ノ收用ニアラサルヲ以テ收用審査會ニ判決ヲ申請シ得サルモノトス

註、本件ハ起業者カ協議ニ依リ土地ヲ取得シタルモ地上物件移轉ニ關シ協議調ハザル爲メ其ノ移轉ノ判決ヲ申請シ却下セラレタモノデアツテ協議不調トシテ收用判決ヲ申請スベキモノデアツタ。

## 三、地上物件移轉ノ方法及場所

(一) (行裁大正三年第六二二號  
同四年七月二十八日宣告)

(要旨) 土地收用法第五十一條ニ所謂地上物件ノ移轉トハ汎ク其ノ物件ヲ收用地上ヨリ他ニ移轉スルコトヲ指シ移轉ノ方法及場所ハ其ノ所有者ノ任意ノ措置ニ過キスシテ收用審査會ノ判決ノ干與スヘキモノニ非ス

(判決理由) 原告ハ土地收用法第五十一條ノ地上物件ノ移轉トハ其ノ物件ヲ原狀ノ儘移轉スル場合カ又ハ一旦之ヲ撤去スルモ他ノ場所ニ於テ原狀ノ如ク築造シ得ル場合ヲ指スモノニシテ本

指示セサルモ違法ニ非サルコトハ當裁判所ノ屢次判示スル所ノ如クナルヲ以テ右主張ハ理由ナシ

四、立木法ニ依ラサル樹木ト地上物件

(内務大正八年十一月十九日甲第一一三四號) 愛知縣知事宛土木局長回答

件ハ移轉ノ場所ヲ指示セサルヲ以テ原狀ノ儘後方殘地ニ引移スコトヲ命シタルモノナルコト勿論ナリト主張スレトモ同法條ノ所謂移轉トハ斯クノ如ク局限セラレタル意義ニ非スシテ汎ク收

(要旨) 立木ニ關スル法律ニ依ラサル樹木ハ土地ト一體ヲ爲スモノニシテ土地收用法第五十一條ニ所謂土地ニ在ル物件ニ該當セス

用地上ヨリ他ニ移轉スルコトヲ指シ其ノ移轉ノ方法及場所ハ其ノ所有者ノ任意ノ措置ニ過キスシテ收用審査會ノ干與スヘキモノニ非サルヲ以テ之カ爲殘地上ノ建物ヲ順次後方ニ引移シ且其ノ縮少ヲ爲ス費用ノ如キハ地上物件ノ移轉ニ伴ヒ當然生スルモノニ非スシテ法ノ所謂通常受クヘキ損失ニ非ス

(二) (行裁昭和六年第八〇號) 同七年十二月十日宣告

(原文) 土地收用法第五十一條ノ適用ニ關スル件——六月十日土第四四三一號ヲ以テ標記ノ件御照會ノ處右立木ハ土地ト一體ヲ爲スモノニシテ土地收用法第五十一條ニ所謂土地ニ在ル物件ニ無之候  
追テ明治四十二年法律第二十二號及民法第二百四十二條但書ニ該當スルモノハ前文ノ限ニ無之候條爲念申添候也

(判決理由) 原告ハ本件判決ニ於テ國府村大字大塚字道祖神八百十三番宅地所在地上物件ノ移轉地ニ同番地ニ接續セル南方ノ原告所有畑地(同字八百十四番地八百十五番地)ニ指定セスシ

(愛知縣知事伺) 明治四十二年立木ニ關スル法律ニ依ラサル樹木ハ土地收用法第五十一條ニ所謂土地ニ在ル物件ナルヤ否ヤ何分ノ御指示相成度

五、專用軌道ト地上物件

テ慢然移轉ヲ命シ之カ移轉補償金ヲ定メタルハ違法ナリト主張スルモ地上物件ノ移轉ニ關スル判決ニ於テ移轉ノ方法及場所ヲ

(行裁昭和三年第一八二號) 同七年十月二十日宣告

(要旨) 一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニハ軌道法ノ適用ナ  
キヲ以テ之ヲ撤去ニ關シテハ土地收用法上ノ地上物件ニ該  
當ス

(原告主張) 原告ハ意見書ヲ以テ本件軌道ハ土地收用法上ノ地  
上物件ニ非スシテ同法ノ適用ヲ受クヘキモノニ非サル旨申立テ  
タルニ對シ被告ハ本件軌道ハ軌道法第一條第二項ノ一般交通ノ  
用ニ供セサル軌道所謂專用軌道ニモ該當セサル收用地上ノ單ナ  
ル地上物件トシテ一部撤去ヲ是認シ土地收用法第五十一條第一  
項前段ノ規定ヲ適用シテ物件移轉料ノ補償ノミヲ以テ足レリト  
爲スモ該判決ハ違法ナリ抑本件軌道ハ軌道法第一條第一項ニ規  
定セラレタル所謂專用軌道ナルカ故ニ同法並ニ大正十二年內務  
省令第四十五號ノ支配ヲ受クヘキモノニシテ本件ノ如ク國又ハ  
公共團體カ必要トスル場合ニ於テハ土地收用法第二條ノ二ノ適  
用ヲ俟タズ即チ收用ニ關シ特別ノ必要如何ヲ論セス直ニ買收セ  
ラレ得ヘキ性質ノモノナリ從テ內務省令第四十五號第五條ニ依  
リ軌道法第十八條第十九條ノ準用並ニ同法第二十六條ノ類推適  
用ニ依リ軌道法ノ軌道ト同一ノ方法ニ依リ買收サルヘキモノニ  
シテ土地收用法上ノ目的ト爲シ得サルモノトス然ルニ被告カ原  
告ノ軌道ヲ單ニ土地收用法第五十一條第一項後段ノ地上物件ト  
爲シ起業者ノ申請ニ係ル一部撤去ヲ理由アリト判決シタルハ審

理遺脱ノ不法アリ

(判決理由) 原告ハ軌道ハ土地收用法上ノ地上物件ニ該當セサ  
ルカ故ニ同法ヲ適用スヘキニ非スシテ軌道法ニ依リ之ヲ買收ス  
ヘキモノナリト云フモ本件軌道カ一般交通ノ用ニ供セサル軌道  
ナルコトハ當事者間ノ爭ナキ所ニシテ斯クノ如キ軌道ニ軌道法  
ノ適用ナキコトハ同法第一條第一項ノ規定ニ徴シ明瞭ナルヲ以  
テ右主張ハ理由ナシ

## 六、物件ノ價值ト移轉ノ要否

(行裁昭和五年第五五二號)  
同七年三月二十九日宣告

(要旨) 構造粗末狹小ニシテ水質汚濁飲用ニ供スルヲ得ス  
僅ニ道路ノ撤去等ニ使用シ居ルニ過キサカ如キ井戸ハ井  
戸トシテ移轉ノ價值ナシト認ムルヲ相當トス

(判決理由) 係争ノ所謂井戸ナルモノハ檢證ノ結果ニ依レハ其  
ノ位置ハ檢證圖ニ示スカ如ク鐵道線路ノ兩側ニ並行セル木柵ノ  
間線路中心ヨリ九尺七寸ノ距離ノ所ニ在リテ地表ヨリ水面迄五  
尺三寸水深ハ二尺六寸ニシテ地表ヨリ下ノ構造ハ相當古キセメ  
ント空樽ト認メラルル粗末ノ木製圓筒形ノモノ三箇ヲ積ミ重木  
タルニ止マリ何等別ニ施設セラレタルモノナク恰モ地中ノセメ  
ント樽ノ中ニ水ノ溜リタルカ如キ觀ヲ呈スルノミ而モ右セメン

ト檸檬ノモノ上部ニ在ルモノハ高サ二尺三寸直径一尺二寸ニシテ其ノ下部ノモノハ順次ニ狭小ナルノミナラス水質亦汚濁シテ飲用ニ供スルヲ得サルモノナリ且右井戸ハ原告ノ主張ニ從フモ以前田用水ニ用ヒ居リシモ現在ハ其ノ必要ナキニ至リ僅ニ道路ノ撒水等ニ使用シ居ルニ過キササルモノナリ此ノ如キモノハ井戸トシテ移轉ノ必要ナキモノト認ムルヲ相當トス

### 七、移轉料補償ノ目的

(行裁大正二年第一七一號)  
同三年五月六日宣告

(要旨) 宅地ノ收用ニ因リ果樹園經營ノ便利ヲ失フトスルモ收用地上ノ家屋ヲ果樹園附近ノ適當ナル地所ニ移轉シテ右便利ヲ維持シ得ルトキハ收用地ノ時價及家屋移轉料ヲ相當ニ補償セラレタル以上更ニ家屋移轉地ノ開拓費ヲ請求シ得ル理由ナシ

### (判決理由)

按スルニ原告經營ノ果樹園ハ面積約二千四百坪果樹柑桃柿梨梅等各種アリ大小併セテ約七百三十本ニシテ其ノ規模必スシモ狭小ナリト云フヲ得ス又其ノ位置ハ原告住屋ノ背後斜面地ニ在リテ住家ヨリ直接之ヲ監視スルコトハ困難ナルモ栽培、施肥、收穫等ヲ爲スニ頗ル便利ヲ有スルコトハ檢證ニ依

リ之ヲ認ム從テ住家ヲ他ニ移轉スルトキハ此ノ便利ヲ失フニ至ルヘキハ明瞭ナリトス然レトモ此ノ便利ハ住家ヲ果樹園附近ニ移轉スルトキハ之ヲ維持シ得ヘク且其ノ附近ニ之ニ適當ナル地所アルコトハ原告ノ自認スル所ナルヲ以テ原告ハ收用宅地ノ對價及家屋移轉料ヲ相當ニ補償セラレタル以上ハ土地收用ニ因リ何等ノ損失ヲ受ケサル者ナリ依テ更ニ家屋移轉地ノ開拓費ヲ請求スル理由ナシ原告ハ移轉地ハ收用地ノ對價ヲ以テ之ヲ購フコトヲ得ヘキカ故ニ之ヲ請求スル理由ナキモ開拓費ニ至リテハ原告自身ニ之ヲ負擔スヘキモノニ非サルヲ以テ起業者之ヲ補償スヘキハ當然ナリト主張スト雖收用宅地ニ對スル補償ハ開拓シタル宅地ノ價格ニシテ山林又ハ畑地ノ價格ト同一ナラス現ニ原告カ受ケタル補償ニ付之ヲ見ルモ山林ハ一坪金四十錢畑ハ一坪金七十錢ナルニ拘ラス宅地ハ一坪金二圓ナルヲ以テ原告ハ該補償金ヲ以テ其ノ附近ニ於テ收用宅地ト同一價格ノ宅地ヲ購フコトヲ得ヘク若シ山地ヲ購フトキハ之ヲ開拓シテ宅地ト爲スコトヲ得ヘキニ依リ原告ノ主張ハ之ヲ採用セス

### 八、調書記載ノ地上物件ト移轉料

(行裁大正九年第二二四號)  
同十一年二月二十二日宣告

(要旨) 土地收用法第二十一條ノ土地物件調書作成當時存

在シタルモ協議開始以前所有者ニ於テ之ヲ撤去シ裁決當時存在セサル地上物件ニシテ而モ之ヲ撤去シタルハ土地收用ノ結果ニ出テタルモノト認ムヘキ證據ナキトキハ之ニ對スル移轉料補償ノ請求ヲ排斥シタルハ不當ナリト謂フヲ得ス

(判決理由) 原告ハ土地收用法第二十一條ニ依リ作成シタル圖書其一(甲第二號證)收用地上物件全部ニ付移轉料ヲ請求シタルニ被告カ右物件中煉瓦積籬巾六尺長二十四尺高八尺ノ一箇ハ協議開始前原告ニ於テ撤去シタルモノナリトシ之ニ對スル移轉料ノ補償ヲ否認シタルハ事實ニ反シ不法ナルノミナラス立合調書其二ト内容ノ異ナルル起業者ノ物件調書ヲ是認シ申請ヲ採用シタルハ土地收用法第二十一條末項ニ違反シ裁決ハ不法ナリト主張スト雖モ前示煉瓦積籬ハ甲第二號證圖書作成當時存在シタルモノト認ムヘキモ大正九年十月十三日以前即チ被告ノ所謂協議開始以前原告ニ於テ之ヲ撤去シ裁決當時存在セザリシモノナルコトハ原告モ認ムル所ニシテ而モ之ヲ撤去シタルハ土地收用ノ結果ニ出テタルモノト認ムヘキ證據ナキカ故ニ被告カ之ニ對スル移轉補償ノ請求ヲ排斥シタルハ不當ナリト謂フコトヲ得ス原告ハ土地收用法第二十一條末項ヲ援用シテ辯論スルモ同條ノ調書ハ其ノ作成當時ニ於ケル土地物件ノ現狀ヲ證スルモノニ過キサルカ故ニ起業者ニ於テ調書記載ノ物件カ裁決申請當時存在セ

ス從テ移轉料ノ補償ヲ要セサルモノニシテ之ヲ除外シテ裁決ノ申請ヲ爲シ被告ニ於テ其ノ申請ヲ採用スルモ圖書ノ記載事項ニ對シ異議ヲ述フルモノト謂フコトヲ得ス原告ノ所論ハ理由ナシ

### 九、收用區域外ニ在ル物件ト移轉料

(行裁大正十四年第九九號  
昭和二年七月十四日宣告)

(要旨) 浴場及其ノ煙突ノ存在スル地域外ノ土地ヲ收用スヘキ場合收用ニ因リ該煙突カ改修不能又ハ改修ニ巨額ノ費用ヲ要スルニ至ルモ浴場ノ移轉料ヲ請求シ得サルモノトス

(判決理由) 原告ハ本件浴場建物ハ大正九年警視廳令浴場取締規則ニ依リ煙突ヲ改修スヘキ運命ニ至リタリ然ルニ收用ノ結果右規定ニ適合シタル如キ煙突ノ設備ハ不能又ハ巨額ノ費用ヲ要スルニ至レルヲ以テ浴場建物ヲ他ニ移轉スルコトヲ必要トスト云フモ右煙突ハ浴場建物ト共ニ全ク收用スヘキ土地ノ外ニ在リ本件土地ノ收用ニハ關係ナキモノナルヲ以テ收用ニ因リ其ノ改修不能又ハ巨額ノ費用ヲ要スルニ至レルモノトシテ浴場移轉料ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス

### 一〇、本條ニ所謂從來用キタル目的ニ

供スルコト能ハサルトキ

(一) (行裁 昭和五年第六二號)  
同七年四月二日宣告

(要旨) 收用地域内ニ存在スル部分ト殘地ニ存在スル部分トカ不可分ノ一體ヲ爲シ得ルモノト認メラルル建物ニ付テハ收用地内ニ存在スル部分ヲ移轉ヲ必要トスル結果ハ土地收用法第五十一條ニ所謂物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサルトキニ該當ス

(判決理由) 按スルニ第一、收用地域内ニ存在スル店舗用ノ部分カ商店街ニ面シ二階建木造瓦葺ニシテ間口五間奥行二間一分七厘建坪十一坪五合餘ニシテ階段ノ外階下ニハ板張(六疊)及板ノ間ノ二室ノ外ニ押入階上ニハ板張物揚一室アリテ米屋ノ店舗ニ供スル目的ヲ以テ建築セラレタルモノナルコトハ原告ノ爭ナキ所ナルニヨリ未タ米屋トシテハ現實ニ使用セラレタルコトナシトスルモ右ノ部分ハ米屋ノ店舗ヲ目的トスルモノト認ムルヲ相當トス而シテ右部分ニハ寢食ノ用ニ當ツヘキ居室ナク殘地ニ存在スル部分カ現ニ住居ニ使用セラレ居ルモノナルコトモ亦當事者間爭ナキ所ナルカ故ニ本件收用地域内ニ存在スル部分ト殘地ニ存在スル部分トハ不可分ノ一體ヲ爲シ得ル建物ト認ムル

ヲ相當トス從テ本件收用ニ因リテ收用地域内ニ存在スル部分ト移轉ヲ必要トスル結果ハ土地收用法第五十一條ニ所謂物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサルトキニ該當スルヲ以テ本件收用地ノ屬スル地番内ニ存在スル建物ノ中土藏二棟ヲ除キタル其ノ餘ノ建物ノ全部並竊録前庭石樹木井戸給水設備並排水設備ハ之ヲ移轉スルヲ要シ原告ハ之カ全部ヲ移轉料ヲ補償スルヲ要スルモノト云ハサルハカラス

(二) (行裁 大正十四年第一五二號)  
同十四年六月四日宣告

(要旨) 收用地上ニ一部存在スル建物ノ其ノ部分切取ノ後強テ殘存部分ヲ使用スルニハ重大ナル模様替ヲ施行スルノ必要アリ其ノ新形ハ舊形ニ比シ著シク差異アルニ於テハ該建物ハ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサルモノト謂ハサルハカラス

(判決理由) 本件收用土地ノ上ニ一部存在スル建物ニ付テハ一部切取ノ補償ヲ爲スヘキカ又ハ全部移轉ノ補償ヲ爲スヘキカヲ審案スルニ被告ノ大正十四年四月三十日附答辯書並ニ之ニ添附セル切取跡修補改築設計書及圖面ノ記載ニ徴スルモ該建物ノ一

部切取ノ後強テ殘存部分ヲ使用スル爲メニハ右ニ記載セルカ如キ重大ナル模様替ヲ施行スルノ必要アリ其ノ新形ハ舊形ニ比シ著シク差異アルモノナルカ故ニ該建物ハ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサルモノト謂ハサルヘカラス從テ該建物ニ付テハ土地收用法第五十一條第一項但書ノ規定ニ依リ全部移轉ノ補償ヲ爲スヘキモノナリ被告ハ其ノ主張ノ理由ノ一トシテ原告カ將來本件建物ノ現在地ニ於テ多大ノ利便ヲ享受スルニ至ルヘキコトヲ申立ツルモ斯ノ如キ事由ハ該建物ノ全部移轉ヲ必要ナラストスル根據ト爲スニ足ラス

### 一、物件ノ存在又ハ供用時期

(一) (行裁大正十四年第九九號 昭和二年七月十四日宣告)

(要旨) 土地收用法第五十一條ニ所謂分割ヲ來スヘキ物件ハ收用當時現存スルモノニ限ルノ法意ナリト解スヘク全ク收用區域外ニ在ル浴場ニ附キ收用當時以前ニ之カ附屬客用便所ヲ設置スヘキ義務アリタリトスルモ收用當時ニ於テ收用區域内ニ之カ設置ヲキトキハ右浴場ハ同條ニ該當セス

(判決理由) 原告ハ警視廳令浴場取締規則ニ依レハ浴場ニハ客

用便所ノ設置絕對ニ必要ナリ然ルニ收用ノ結果之ヲ設置スル場

所ナキニ至リタルヲ以テ浴場建物ヲ移轉スルノ必要アリ從テ之カ移轉料ノ補償ヲ受クヘキモノナリト云フモ土地收用法第五十一條ニ依レハ土地收用ノ場合ニ於ケル移轉料ノ補償ハ收用スヘキ土地ニ在ル物件ニ付テノミ之ヲ爲スヘク唯物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサル場合ニ限り所有者ハ收用スヘキ土地ノ區域外ニ在ル部分ヲ合併セテ全部ノ移轉料ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス而シテ其ノ所謂分割ヲ來スヘキ物件ハ收用當時現存セルモノニ限ルノ法意ナリト解スルヲ相當トス然ルニ本件浴場ハ全ク收用スヘキ土地ノ區域外ニ在リテ收用スヘキ土地ト關係ナク其ノ附屬客用便所ハ大正十四年七月十七日ノ收用當時ニ於テハ收用スヘキ土地ノ區域内ニ之ヲ設置シアラサリシモノナルヲ以テ假令大正九年警視廳令浴場取締規則ニ依リ之カ設置ノ義務アリ且大正十三年六月三十日迄ニ之ヲ設置スヘキ旨ノ命令ヲ受ケタリトスルモ之ヲ收用スヘキ土地ノ上ニ在ル物件ト云フヲ得ス從テ本件浴場ハ土地收用法第五十一條ニ該當セサルコト明瞭ニシテ原告ノ主張ハ採用スルニ由ナシ

(二) (行裁大正十二年第一七二號 昭和二年六月二十二日宣告)

(要旨) 收用當時最早從來ノ用途ニ供セラレサルニ至リタ



ルモノト認ムヘキ物件ニ付テハ其ノ全部ノ移轉料ヲ請求シ得ヘキニ非ス

(判決理由) 起業者ハ大和鐵道株式會社ノ事業用地トシテ奈良縣磯城郡櫻井町大字谷九十五番地ノ一及二ノ内六十四坪餘竝七十四番地ノ二ノ土地ヲ收用スルニ當リ被告ハ右收用地上ニ存在セル原告會社ノ本件工場ノエンヂン、ボイラー、煙突竝貯水池ニ對スル移轉料補償ノ裁決ヲ爲シタルコトハ當事者間爭ナキ所ナリ第一、原告會社ハ本件工場竝其ノ機械設備全部ノ移轉料ヲ請求スルニ付之ヲ案スルニ原告會社ハ大正十年九月三十日ニ至リ解散シタルコトノ當事者間ニ爭ナキ事實竝檢證調書ノ全趣旨トヲ綜合シ本件工場機械竝設備ハ收用當時最早從來ノ用途ニ供セラレサルニ至リタルモノト認ムルヲ相當トス從テ本件殘餘ノ工場機械竝設備ハ被告カ已ニ移轉スヘキモノト裁決シタル物件ト共ニ移轉スルニ非サレハ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハストシテ其ノ全部ノ移轉料ヲ請求シ得ヘキモノニ非ス

二、建物ノ軒庇ノ一部力收用地上ニ及フ場合

全部移轉ノ要否

(行裁大正十四年第九九號昭和二年七月十四日宣告)

(要旨) 收用スヘキ土地ノ區域外ニ在ル建物ノ軒庇ノ一部

カ收用スヘキ土地ノ上ニ及フモ其ノ軒庇ヲ除去スルノ必要モナク假ニ收用地上ニ及フ部分ヲ切取ルトスルモ之カ爲該建物ヲ從來用ヒタル目的ニ供スルニ支障ナシト認メラルル場合ニ於テハ該建物ハ收用ニ因リ全部移轉ヲ要スルモノニ非ス

(判決理由) 原告ハ本件浴場建物ノ軒庇屋根雨樋等ノ一部カ收用地上ニ在リ是レ道路法第六條第五十六條ニ照シ違法ニシテ收用ノ結果當然該建物全部ヲ移轉スルノ必要アリト云フモ檢證調書ニ依レハ該建物ハ全部收用地外ニ在リテ唯其ノ軒庇(霧除)ノ一部分カ通路敷タル下水溝上ニ及フニ過キササルノミナラス起業者ハ該道路管理者タルニ拘ラス右軒庇ノ除去ヲ請求セサルヲ以テ觀レハ該軒庇ハ之ヲ除去スルコトヲ要セサルモノト認ムヘク假ニ其ノ收用地上ニ及フ部分ヲ切取ルモノトスルモ之カ爲浴場ヲ從來用ヒタル目的ニ供スルニ支障ナシト認メラルルニ依リ原告ノ主張ハ理由ナシ

一三、物件收用ノ請求並移轉料請求ノ範圍

(一) (大審大正三年(オ)第九五六號) 同四年五月五日言渡

(要旨) 被收用者カ土地收用法第五十一條第二項ニ依リ地

上物件ノ價格ヲ表示シ其收用ヲ申立テタルニ收用審査會カ  
之ヲ排斥シ移轉料ノミヲ許容シタル場合ト雖モ被收用者ハ  
移轉料ノ請求ヲ拋棄シタルニ非スシテ其ノ收用申立價額ノ  
範圍内ニ於テ其ノ申立中ニ當然包含セラルルモノト解スヘ  
キモノトス

(判決理由) 收用スヘキ土地ニ在ル物件ニ對シテハ移轉料ヲ補  
償シテ之ヲ移轉セシムルヲ本則トスレトモ土地收用法第五十一  
條第二項ニハ物件ヲ移轉スルニ因リテ從來用ヒタル目的ニ供ス  
ルコト能ハサルトキハ所有者ヘ其ノ收用ヲ請求シ得ヘキ旨ヲ規  
定スルヲ以テ被收用者カ收用地上ノ物件ヲ移轉シテ之ヲ使用ス  
ヘキ場所ノ存在セサル理由ニ依リ移轉料ノ請求ヲ爲サス進ンテ  
地上物件ノ價格ヲ表示シテ其ノ收用ヲ申立テタル場合ニ於テ收  
用審査會カ地上物件ハ他ニ移轉スヘキモノナリトシテ其ノ申立  
ヲ排斥シ移轉料ノミヲ許容シタルトキト雖モ被收用者ハ移轉料  
ノ請求ヲ拋棄シタルニ非スシテ其ノ收用申立價額ノ範圍内ニ於  
テ其ノ申立中ニ當然包含セルモノト解スヘキモノナルコト勿論  
ナリ

(要旨) 收用審査會ニ對シ物件ノ移轉料ノミノ請求ヲ爲シ  
タル者ト雖モ審査會ニ於テ其ノ主張ノ價格ヲ不相當トシ起  
業者ノ申請ヲ容レテ收用ノ裁決ヲ爲シタル以上ハ行政訴訟  
ニ於テ收用ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルハ當然ナリ

(判決理由) 被告ニ於テハ收用審査會ニ對シ本物件移轉料ノ  
請求ヲ爲シ收用ノ請求ヲ爲ササリシ原告カ本訴ニ至リテ收用ノ  
請求ヲ爲スハ不當ナリト謂フト雖モ收用審査會ニ於テ原告主張  
ノ價格ヲ不相當トシテ收用ヲ請求スル起業者ノ請求ヲ容レ收用  
ノ裁決ヲ爲シタル以上ハ之ニ服セサル原告ニ於テ收用ノ請求ヲ  
爲スコトヲ得ルハ當然ナリ

#### 一四、都市計畫法ニ基ク收用ト本條

(收用審査會ノ權限)

(行裁昭和六年第八五號  
同七年七月十六日宣告)

(要旨) 都市計畫法第二十條第一項ニ依リ内務大臣カ收用  
ヲ裁定シタル土地ノ權利取得物件移轉ノ補償ニ付收用審査  
會ニ於テ裁決スルニ當リ地上物件ノ所有者カ土地收用法第  
五十一條第二項ニ基キ地上物件ノ移轉ニ代ヘ之カ收用ヲ請  
求シタル場合ニ於テハ收用審査會ニ於テ之ヲ裁決スヘキモ

ノトス

(判決理由) 被告ハ本件係爭建物ノ收用ハ都市計畫法第二十條第一項ノ規定ニ依リ内務大臣ノ裁定ヲ求ムヘク收用審査會ニ於テ裁決スヘキ權限ヲ有セサル旨主張スルモ同條第一項及第二項ニハ建築物ノ權利ヲ取得スル爲其ノ所有者及關係人ト協議調ハサル場合又ハ其ノ協議ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ事業執行者ハ主務大臣ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得ヘク收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得サル旨同條第三項ニハ損失補償ノ協議ニ關シテハ前二項ノ規定ヲ適用セサル旨規定シアリ而シテ土地收用法第五十一條ノ收用地上物件ノ移轉料又ハ該物件ノ收用ニ關スル規定ハ損失補償ニ關スルモノト解スルヲ相當トスルカ故ニ地上物件ノ所有者カ同條第二項ニ基キ地上物件ノ移轉ニ代ヘ之カ收用ヲ請求シタル場合ニ於テハ右都市計畫法第二十條第三項ニ依リ同條第一項及第二項ノ適用ナク同法第十八條第一項及土地收用法第三十五條ニ依リ收用審査會ニ於テ裁決スヘキモノト云ハサルヘカラス從テ右被告ノ主張ハ理由ナシ

第五十二條 前條ノ移轉料ニシテ其ノ物件ノ相當價格ヲ超ユル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

一、起業者ノ地上物件收用請求ノ要件

(一) (行裁明治三十四年第二三一號)  
同三十五年三月五日宣告

(要旨) 收用スヘキ土地ニ在ル物件ハ移轉料ニ付キ協議調ハサルトキ初メテ之ヲ收用スルコトヲ得從テ起業者ヨリ所有者ニ對シ協議ヲ爲シタルコトナキニ拘ラス收用審査會カ起業者ノ申立ヲ採用シテ物件ヲ收用セシメタルハ不當ナリ

(判決理由) 本件ハ收用スヘキ土地ニ在ル物件ハ如何ナル場合ニ之ヲ收用シ得ルヤノ問題ニ歸ス按スルニ土地收用法第五十一條第一項ノ規定ニ依レハ收用スヘキ土地ニ在ル物件ニ對シテハ移轉料ヲ補償スルヲ以テ原則トシ而シテ其移轉料ハ猶土地ニ於ケル買收額ニ於ケルカ如ク損失ノ補償ナルヲ以テ起業者ハ此點ニ付同法第二十二條第一項ノ規定ニ依リ土地所有者又ハ關係人ニ協議ヲ爲シ協議調ハサル場合ニ於テ始メテ審査會ノ裁決ヲ求メ且同法第五十二條ノ規定ニ依リ物件ノ收用ヲ請求シ得ルモノナリ然ルニ本件ニ於テハ起業者ヨリ所有者ニ對シ移轉料ヲ付何等協議ヲ爲シタルコトナキニ拘ラス被告審査會カ直ニ起業者ノ申立ヲ採用シテ物件ノ收用ヲ爲サシメタルハ其當ヲ得ス

(二) (行裁大正十一年第一一號)  
同十三年三月六日宣告

(要旨) 起業者カ地上物件ノ收用ヲ請求スルニハ先ツ其ノ

移轉料ノ補償ニ付協議スルヲ要スルニ協議ヲ爲サス收用ノ請求ヲ爲シタルハ手續ヲ誤リタルモノニシテ所有者カ異議ヲ述ヘタルニ之ヲ排斥シタル裁決ハ違法ナリ

(判決理由) 土地收用法第五十一條ニ依レハ收用地上ニ在ル物件ハ起業者ヨリ其ノ移轉料ヲ補償シテ之ヲ移轉セシムヘク其ノ移轉料ニシテ其ノ物件ノ相當價格ヲ超ユル場合ニ於テハ起業者カ其ノ收用ヲ請求シ得ルハ同法第五十二條ノ規定スル所ナルヲ以テ起業者カ地上物件ノ收用ヲ請求スルニハ先ツ其ノ移轉料ニ付キ所有者ト協議スルヲ要ス然ルニ本件ニ在リテハ起業者カ地上物件ノ移轉料ニ付キ協議ヲ爲シタル事實ノ認ムヘキモノナク甲第八號證ハ買収ノ協議ナルヲ以テ起業者カ地上物件收用請求ヲ爲シタルハ其ノ手續ヲ誤リタルモノト云フヘタ原告カ此點ニ關シ被告ニ異議ノ意見ヲ述ヘタルニ拘ラス被告カ之ヲ排斥シ本件裁決ヲ爲シタルハ違法ナリト云ハサルヘカラス依リテ被告ノ裁決中此點ニ關スル部分ハ之ヲ取消スヘキモノトス

## 二、起業者ノ殘地上ノ物件ノ收用請求ト

### 其ノ移轉協議

(行裁 昭和十年第一一六號  
同十年十二月二十八日宣告)

(要旨) 裁決申請後土地所有者ノ爲シタル殘地收用ノ申立

ニ依リ其ノ地上物件移轉ノ必要ヲ生シ其ノ移轉料カ物件ノ相當價格ヲ超過スト認ムル場合ニハ起業者ハ其ノ物件ニ付何等協議ヲ爲スコトナク土地收用法第五十二條ニ依リ物件ノ收用ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

(原告主張) 凡ソ事業ノ爲ニ必要トシ土地收用法ニ依リ收用スル場合ニハ地用地上ノ物件ヘ之ヲ他ニ移轉セシムルヲ原則トシ地上物件ヲモ併セテ收用シ得ルハ唯一ツ同法第五十二條ノ場合ニ特例アルニ過キス從テ同條ノ適用ヲ見ルハ其ノ前提トシテ地上物件ノ移轉料ニ付當事者間ニ協議調ハサルコトヲ絕對ノ要件ト爲スヘキモノナルコトハ當然ニシテ行政裁判所ノ判例ノ示ス所ニ屬ス而シテ本件ハ裁決書ニ於テ明ナル如ク道路新設ニ要スル土地ノ地上物件ノ移轉ニ付テハ未タ曾テ起業者ヨリ協議ヲ受ケタルコトナキヲ以テ固ヨリ協議不調ノ事實アルコトナシ從テ起業者ハ土地收用法第五十二條ニ依リ收用ノ申請ヲ爲スコトヲ得サルニ拘ラス被告カ起業者ノ追加申請ヲ以テ同條ノ申請ト即斷シ之カ裁決ヲ爲シタルハ獨リ事實ヲ曲歪シタル不法アルノミナラス明ニ法ノ解釋ヲ誤リタル違法アルモノナリ

(判決理由) 裁決申請後土地所有者ヨリノ申立ニ依ル殘地收用ノ結果其ノ地上物件ノ移轉ノ必要ヲ生シ其ノ移轉料カ物件ノ價格ヲ超過スト認ムル場合ニハ起業者ハ其ノ物件ニ付何等協議

ヲ爲スコトナク同法第五十二條ニ依リ物件ノ收用ヲ請求スルコトヲ得ヘキモノト解スルヲ相當トスルカ故ニ被告カ之ニ付裁決ヲ爲シタルハ違法ニ非ス原告引用ノ當裁判所明治三十五年三月五日宣告同三十四年第三百三十一號事件及大正十三年三月六日宣告同十一年第十一號事件ノ各判決ハ執レモ事業ニ必要ナル爲メ收用スヘキ土地ノ上ニ在ル物件ノ移轉ニ關スルモノニシテ本件ノ先例ト爲スニ足ラヌ

### 三、地上物件ノ移轉收用ト當事者申立

(一) (行裁 大正八年第一五號 同八年十月一日宣告)

(要旨) 起業者カ地上物件ノ相當價格及ヒ移轉料ノ外別ニ收用補償額ヲ申立テ收用審査會カ之ニ對シ相當價格及ヒ移轉料ヲ査定シタルニ移轉料ハ物件ノ相當價格ヨリ多額ナルモ起業者申立ノ收用補償額ハ其ノ相當價格ヨリ多額ナル場合ニ於テハ起業者申立ノ補償額ニ依ラス物件ノ相當價格ヲ標準トシテ土地收用法第五十二條ノ規定ニ依ル收用ノ許否ヲ決スヘキモノトス

(判決理由) 原告ハ係争地ノ建物其ノ他ノ物件ノ移轉料ハ其ノ相當價格ヲ超ニサルヲ以テ移轉料ヲ補償スヘキモノナルニ被告

カ地上物件收用ノ裁決ヲ爲シタルハ不當ナリト主張スルニ依リ此ノ點ニ付審按スルニ裁決書記載第八號建物及附屬物件ノ價格ニ付テハ原告ハ被告裁決ノ補償金額ヲ争ハス第一號乃至第五號ノ建物ノ價格ニ付テハ鑑定人ノ鑑定價格ヲ參酌シ外ニ當事者間争ナキ被告裁決ノ附屬物件價格ヲ見積ルモ地上物件價格ハ何レモ被告裁決ノ補償金額以內ト認ムルヲ相當トス而シテ前示各號ノ補償金額ヲ當事者間争ナキ乙第二號證ノ移轉料(被告査定額)ニ對比スルニ後者ハ前者ヨリ多額ニシテ移轉料カ物件ノ價格ヲ超ユルコト明ナルカ故ニ被告カ前示第一號乃至第五號並第八號建物附屬物件收用ノ裁決ヲ爲シタルハ不當ニ非ス第六號第七號建物ニ付テハ被告裁決ノ收用補償金額カ争ナキ乙第二號證ノ移轉料ヨリ多額ナルモ乙第二號證及裁決書記載ニ依レハ前示建物ニ付テハ起業者ハ之カ相當價格及移轉料ノ外別ニ收用補償額ヲ申立テタルニ被告ハ之ニ對シ物件ノ相當價格及移轉料ヲ査定シタルモ土地收用法第四十一條ノ規定ニ依リ起業者申立ノ收用金額ヲ以テ收用補償額ト裁決シタルモノナルコト明ニシテ此ノ如キ場合ニ於テハ起業者申立ノ補償額ニ依ラス物件ノ相當價格ヲ査定シ之ヲ標準トシテ土地收用法第五十二條ノ規定ニ依ル收用ノ許否ヲ決スヘキモノトス

(二) (行裁 昭和十年第一六九號 同十年十二月二十八日宣告)

(要旨) 收用審査會カ裁決申請後土地所有者ヨリ提出シタル  
 殘地ノ收用及其ノ地上物件ノ移轉料ヲ求ムル意見書及之  
 ニ對シ起業者ヨリ提出シタル殘地ノ收用ノ請求ニ付テハ異  
 議ナキモ地上物件ノ移轉料ハ其ノ相當價格ヲ超ユルモノナ  
 ルニヨリ之カ收用ノ裁決ヲ求ムル旨ノ申立書ニ基キ審査シ  
 地上物件ノ價格カ移轉料ヨリ少額ナリト認メタル結果右地  
 上物件ノ收用ノ裁決ヲ爲シタルハ當事者ノ申立ノ範圍ヲ超  
 エタルモノト云フコトヲ得ス

(判決理由) 被告カ起業者ノ裁決申請後ナル昭和十年二月五日  
 ニ至リ原告ヨリ提出シタル係争土藏ノ移轉料ノ補償並其ノ所在  
 地ヲ包含スル殘地ノ收用ヲ請求スル旨ノ意見書及之ニ對シ起業  
 者ヨリ提出シタル原告ノ殘地收用ノ請求ニ付テハ異議ナキモ地  
 上物件タル土藏ノ移轉料ハ其ノ相當價格ヲ超ユルモノナルニヨ  
 リ之カ收用ノ裁決ヲ求ムル旨ノ申立ニ基キ審査シ係争ノ土藏ノ  
 價格カ移轉料ヨリ少額ナリト認メタル結果右土藏ノ收用ノ裁決  
 ヲ爲シタルハ當事者ノ申立ノ範圍ヲ超エタルモノト云フコトヲ  
 得サルカ故ニ原告ノ主張ハ採用スルヲ得ス

正 誤

第二十一卷中

號 頁 行 誤 正

十 一五二

第三十五條ノ前ニ見出シ「第五章收用審  
 査會」ヲ入レル

第二十二卷中

一 一七一 下二 地方長官 地方官

一 一七一 下終ヨリ九 遺法 違法

一 一八三 下五 同十三年 同四十三年

